



平成 28 年度 県立広島大学重点研究事業
「地域課題解決研究」における研究課題の募集について

1 趣旨

県立広島大学では、地域課題の解決による地域産業の振興等への貢献を目的として、平成 28 年度において、県立広島大学重点研究事業「地域課題解決研究」を実施することとし、県内の地方公共団体、公的機関及び公共的団体からの課題を募集します。

2 研究課題の募集について

(1) 募集する研究課題

地域産業の振興等に資する次の分野・領域の研究を募集します。

ア 地域産業の活性化に寄与する研究(食品, バイオ, 環境, 企業経営, 情報システム等)

イ 地域の再生・発展に寄与する研究(地域資源, コミュニティ等)

ウ 暮らしの安心に寄与する研究(健康, 保健, 福祉等)

(2) 応募対象

県内の地方公共団体、公的機関、公共的団体等からの提案を対象とします。

(3) 応募方法

「課題提案書」に必要事項を記入のうえ、平成 28 年 1 月 29 日(金)【必着】までに電子メール又は郵便により、経営企画室へ提出してください。

(※ 例年 2 月から 3 月にかけて募集していますが、今回より募集時期を繰り上げていますのでご注意ください。)

提案された研究課題を学内へ公表し、研究に取り組む教員を学内募集したうえで、研究計画の採否を審査・決定します。

提案された研究課題が採択されないこともありますので予め御了承ください。

【留意事項】

- ・提案される研究課題は、研究成果が特定の法人・企業等ではなく、広島県又は県内の地域社会が抱える課題解決に貢献するものであることを要します。
- ・採択された課題の課題提案者は研究の進捗状況を確認し、10 月末までに進捗状況報告書を提出していただくこととなります。

3 備考

平成 28 年度県立広島大学重点研究事業地域課題解決研究における研究課題の募集の詳細については、本学ホームページの次の URL を御覧ください。

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/research/28proposal.html>

4 提出及び問合せ先

県立広島大学 経営企画室

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目 1 番 71 号

電話：(082)251-9727 (ダイヤルイン)

FAX：(082)251-9405

電子メール：kikaku2@pu-hiroshima.ac.jp

1 平成27年度 重点研究事業「地域課題解決研究」採択一覧

参考

番号	新規 継続	研究課題名	採択額(円)	研究計画代表教員		
				所属	職名	氏名
1	継続	アスパラガスの冬採り促成栽培法確立のための技術開発 【課題提案者】庄原市 農業振興課	642,700	生命環境・生命科学	准教授	甲村 浩之
2	継続	耕作放棄地を活用した「ナマズ養殖」による地域6次産業創出と地域活性化に向けた「ナマズ」含有成分等からのアプローチ 【課題提案者】神石高原町 教育委員会 生涯教育課	789,200	生命環境・生命科学	教授	黒木 英二
3	継続	NPO法人会計基準による財務状況調査を通じたNPO法人の信頼性向上に関する研究 【課題提案者】特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター	495,331	経営情報・経営	准教授	五百竹 宏明
4	継続	一人暮らし高齢者の多様な居場所づくりのためのアクションリサーチ —多様な居場所づくりとその評価— 【課題提案者】総領自治振興区	685,640	保健福祉・看護	講師	岡田 麻里
5	継続	タブレット端末活用による条件不利地域の高齢者支援の検討 【課題提案者】東城町商工会	664,550	生命環境・生命科学	准教授	堀田 学
6	継続	サテライト研究室を核とする大学の関与による基町住宅地区の活性化の可能性について 【課題提案者】広島市都市整備局 住宅部 住宅整備課	894,450	保健福祉・人間福祉	准教授	田中 聡子
7	新規	広島県内産の日本酒の酒粕を菓子原材料として広く活用するための酒粕の機能性評価に関する研究 【課題提案者】広島県菓子工業組合	887,931	人間文化・健康科学	教授	谷本 昌太
8	新規	広島県北部中山間地域に適したミシマサイコ栽培法の確立 【課題提案者】県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部	784,095	生命環境・生命科学	准教授	野下 俊朗
9	新規	尾道市における映画を活用したまちづくり方策の研究 【課題提案者】尾道市 教育総務部 文化振興課	420,020	経営情報・経営	准教授	和田 崇
10	新規	適正なアユ放流時期の選定に関する調査研究 【課題提案者】西城川漁業協同組合	842,880	生命環境・環境科学	教授	西村 和之
11	新規	山林伐採地と耕作放棄地を利用し生産した地元産優良品種ウルシの化学的・生物学的特性評価 【課題提案者】三次漆生産組合	865,500	生命環境・環境科学	准教授	青柳 充
12	新規	介護保険施設に導入されたミールラウンドを定着させていくための支援ツールの作成 【課題提案者】広島市立リハビリテーション病院	626,750	人間文化・健康科学	教授	栢下 淳
13	新規	広島県東部での小規模発電事業を含めた木材の総合的利活用策の検討 【課題提案者】神石高原町 地域おこし協力隊	736,750	生命環境・環境科学	准教授	小林 謙介

「平成27年度 重点研究事業 地域課題解決研究」の成果発表は平成28年夏の予定です。

2 重点研究事業「地域課題解決研究」成果の事例

1	袋利用によるトマト養液栽培技術の確立 【研究概要】 庄原市特産の夏秋採りトマトの増産による地域振興を目的として、水稲産地として約20haあると推定される水稲育苗施設の遊休時期を利用した栽培技術を開発した。同施設では機械移植用水稲育苗の均一性を図るため耕うんはできない。そこで、持ち込み持ち出しが可能な袋利用栽培技術の開発に取り組み、培土に粉碎もみ殻を5割混合することで軽量・低コストの栽培法を開発した。また、これらには養液栽培も適用でき、2年目には1袋あたりの培土量を30Lから10Lに低減し、耐久性袋素材も選定し、従来の袋と同程度の収量・品質が得られることを明らかにした。	庄原市	生命環境学部 生命科学科	准教授	甲村 浩之	
2	神楽をテーマとした地域活性化の研究 【研究概要】 本研究では、広島広域都市圏の神楽を事例にとりあげ、都市と農村の関係、文化と産業の関係の2点から、地方伝統文化の振興可能性を検討した。その結果、都市と農村の関係については、神楽が御神楽から里神楽、さらに街神楽へ変化してきたことを指摘した。街神楽は農村から引き出され、都市で「創られた伝統」として消費されるものであり、最近では“クールな農村”の象徴としても捉えられている。文化と産業については、都市に引き出された神楽が、商品化する過程で、保護する対象から活用すべき資源として位置づけを変化させるとともに、消費されやすい神楽と消費されにくい神楽に二分していることが明らかになった。	広島広域都市圏協議会 “神楽”まち起こし協議会	経営情報学部 経営学科	准教授	和田 崇	
3	佐木島における「海浜セラピー」の科学的分析とその活用手法について 【研究概要】 本研究は、現在よく知られている「森林ガイドおよび森林セラピー」に対して、新しい概念での「海浜ガイドおよび海浜セラピー」という概念と実践を佐木島をセラピー基地とした三原発信で広くひろめていくことが目的である。そのためには、海浜セラピーが生み出す健康効果(海浜の健康医学)のエビデンスの確立が必要である。すなわち、身体的健康効果(体力の維持・増強など)、精神的健康効果(リラクゼーション・癒しなど)の評価と検証である。これらのエビデンスにより、海浜セラピーのプログラムの提案と海浜の健康医学を確立した。	三原市	保健福祉学部 理学療法学科	名誉教授	大塚 彰	